

活動報告

2012年4月15日(日) 2013年に開催を計画中の名古屋展に向けて会場の候補として挙げたノリタケの森、愛知県美術館、ナディアパーク・デザインセンターの視察を行いました。

通常総会

2012年4月16日(月) 名古屋市 国際デザインセンター セミナールームに於いて平成24年度通常総会を開催しました。

横浜みなとみらい21の歴史

JSGAAは横浜みなとみらい展を2012年8月8日から開催します。会場となるこの地区は横浜港に面し商業施設、オフィス、ホテルをはじめ様々な施設が集積した地域です。

1978年に横浜市が基本構想を発表した「横浜市都心臨海部総合整備計画」が、その後「みなとみらい21」という名称となり事業がスタートしました。

1989年に「横浜美術館」が開館、1991年には「横浜国際平和会議場」、「ヨハマグランドインターコンチネンタルホテル」が開業、そしてみなとみらいのシンボルである高さ296mの「横浜ランドマークタワー」が1993年に開業しました。その横にある「ドックヤードガーデン」(1997年に国の重要文化財に指定)は実際に造船所で使用されていたドックです。1997年「クイーンズスクエア横浜」、1999年には観覧車「コスモクロック21」と次々に主要な施設ができ、誰もが思い浮かべる“みなとみらい”の景観が誕生しました。その後2004年には「みなとみらい線」が開業し、横浜駅から元町・中華街が鉄道で結ばれ都市部が一体化することとなりました。

港町横浜は150年程前に開港して以来、文化と観光そしてビジネスの中心として栄えこの美しい景観とともに今後も発展していくことでしょう。



文 櫻井由美
(ステンドグラススタジオ Y's COMET)

国際公募アート未来展に参加して!



6月27日～7月9日開催の国際公募アート未来展が行われました。我がステンドグラス作家協会会員の参加者も年々増えていきます。その中今年には櫻井さん、高橋春恵さん、姉崎さんが特選を受賞致しました。

国際公募アート未来展とは、趣旨は、「未来に向けて創造且つ、斬新な芸術活動を積極的に促進して、国際文化の交流と芸術の向上発展に寄与することを目的とする」という公募展です。自由な発想と会員同志和やかな雰囲気の中で、毎年六本木にあります国立新美術館行われています。美術館での展示というのも魅力の一つですが、広々とした会場に展示された自分の作品が美術品になったようで、輝いて見えるな～との思いでいつも眺めています。(自己満足かな(●^●)) 来年も又6月末にあります。是非一度のぞいてみてください。勿論、ご自分の作品を応募してみてくださいは!

文・写真 高橋陽華
(クリエイティブハウス どうー)

ホームページのご案内

展示会の情報「横浜みなとみらい展“2012躍動”～全ての人へ～」を更新しました。みなさんチェックしてみてください。

<http://jsgaa.org/>

本協会への入会、お問い合わせは事務局及び各会員まで
お願いします。

発行日 2012年8月1日
発行者 日本ステンドグラス作家協会
(事務局) 〒108-0074 東京都港区高輪 4-2-7-201
林 晶子 (A工房)
編集者 〒841-0004 佐賀県鳥栖市神辺町 1589-3
櫻井 由美 (ステンドグラススタジオ Y's COMET) Tel.0942-84-5546

日本ステンドグラス作家協会

Japan Stained Glass
Artist's Association

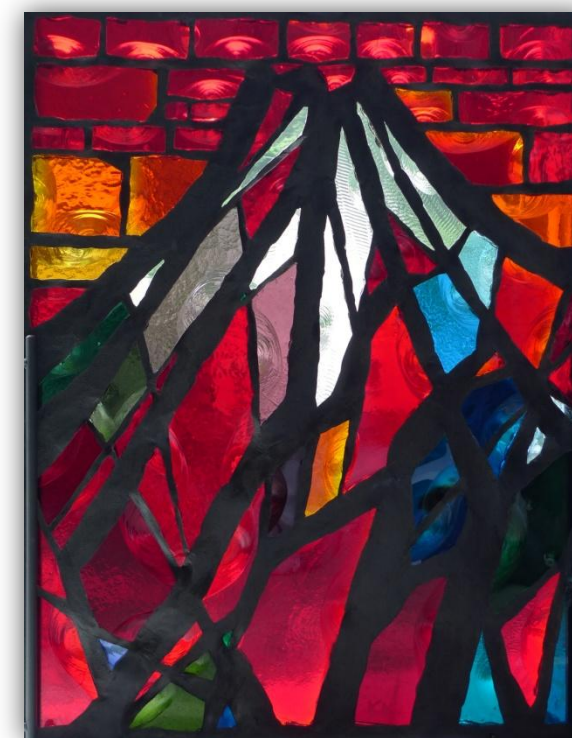
日本ステンドグラス作家協会

会報誌

JSGaA

第7号
第7号

2012年8月 Vol.7



マグマ湧く富士 Keiko Miura

研修レポート in 名古屋

「大一美術館と文化の道を見て」

4月、総会を名古屋で開催するのに伴い、名古屋市中村区鴨付町にあります大一美術館と東区榑木町にある文化のみち二葉館を見学してきました。

名古屋研修に参加されました方々お疲れさまでした。

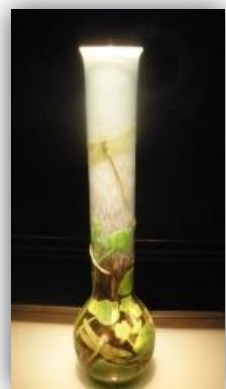


まず、大一美術館の紹介
この美術館は、株式会社大一商会のメセナ活動の一環として『特色のある美術館』をめざし集めたエミール ガレやドーム兄弟の作品の展示と、現代ガラス作家「デイル・チフーリ (Dale Chihuly)」の作品展示が行われていました。

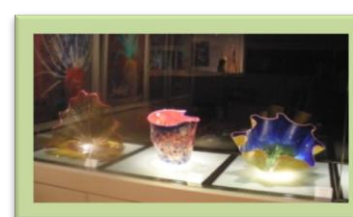
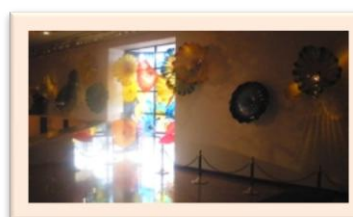
現代作家 デイル・チフーリ (アメリカで初めて人間国宝に選定されたアーティスト) の見事な吹きガラス色彩や数人を擁して大作を製作していく様子がビデオで紹介されていました。



大一美術館内



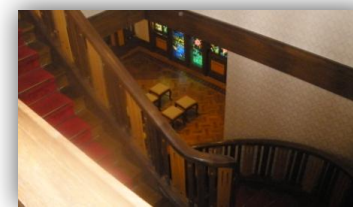
展示風景・展示物



又、東区にあります『文化のみち (名古屋城から徳川園にいたるまでの事)』、[江戸期、中・下級武士の屋敷が連なり、明治から昭和の初めにかけては、近代産業の担い手となる起業家、宗教家、ジャーナリストなど様々な人の、交流の舞台となった地域]

その中の二葉館とは、日本の女優第一号として名をはせた川上貞奴が女優を引退後、

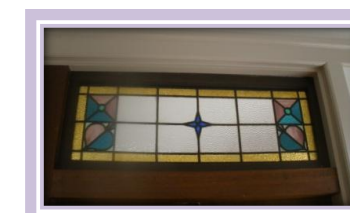
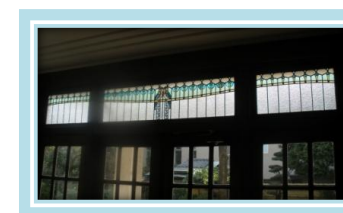
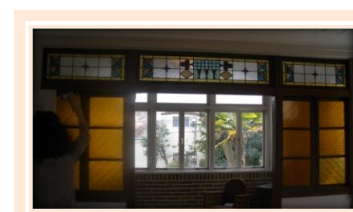
大正時代電力王と呼ばれた福沢桃介と共に暮らした和洋折衷の建物で当時二葉御殿と呼ばれていた建物を東区東二葉から平成17年に現地に移築された。



建物内には、ステンドグラスのパネルが数点。

文化のみち榑木館 (しゅもくかん)

陶磁器商として活躍した井元為三郎が大正末期から昭和初期に建てた邸宅で、現在は名古屋市有形文化財、景観重要建造物に指定されている建物です。



建物内のステンドグラス

文・写真 高橋陽華
(クリエイティブハウス どうー)